



欧米化学会社のビジネスパートナーである皆さまへ

欧米化学企業が工場の安全環境監査に来た時に、彼らの要求に戸惑いを感じたことはありませんか？

合同会社EHSエキスパートサービス（EES）は、欧米化学会社の系列日本企業、あるいはそのビジネスパートナーの化学工場、ロジスティクス基地を、環境・安全・衛生面からコンサルティング・サポートする会社です。設立者（玉井）が、ダウ・ケミカル社およびキャボット社で、化学工場の運転・業務管理、社内EH&S監査、かつビジネスパートナーでのEH&S監査を実施した経験を活用し、お客様ごとの状況に応じたサポートを行います。皆様の化学工場・施設等で、欧米化学会社がEH&S監査を実施する際に、皆様の立場に立ち、施設の現状、双方の安全文化、法規制を理解した上で、同じ言語（英語、工場用語、環境安全実務）を用い、両者の意思疎通を図り、良好なビジネス関係構築のお手伝いをします。

欧米化学会社にとって環境・安全・衛生とは？

輝かしいEH&S実績は欧米企業にとって、会社の中核的な価値（Core Value）であり、ビジネスパートナーにも同様な文化を持つように要求します。

EH&S Excellence



Core Value of the company

パートナーに同様な価値を期待



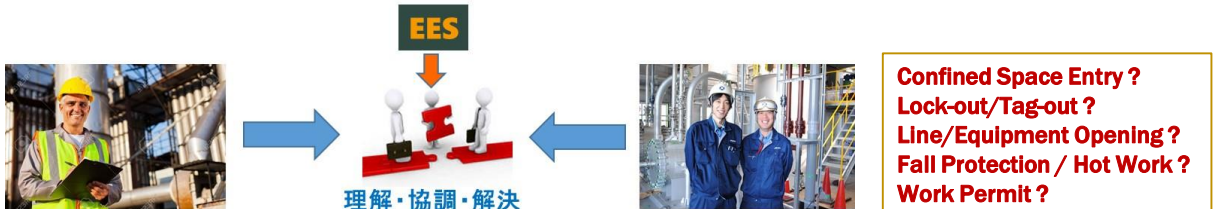
委託製造工場

輸送倉庫・タンクターミナル

系列会社工場

欧米化学会社は環境安全衛生監査で何を求めるか？

米国化学企業が日本のビジネスパートナー施設で EH&S 監査を実施する際、環境面は現地日本の環境法規制への対応になるため、明白な環境汚染（特に地下水）の可能性以外は、ISO14001を取得していれば、遵守できていると判断されることが多い。しかし、人の安全においては、日本の労働安全衛生法体系に相当する、OSHA（米国労働安全衛生庁）標準をベースにした社内規定に照らし監査する。特に、転落防止、火気作業、槽内作業、施錠、エネルギー遮断、配管分解、これらを実施する際の、作業安全許可システムは、Life Critical（生命にかかわる）として重要とされるが、日本の法規制と異なる要件もみられる。プロセスセーフティー（PS）は不具合が重大事故につながることから、近年、ACC（米国化学会）においてもOSHA 及び EPA の法規制の補足として、レスポンシブル・ケアプロセスセーフティーコードを追加し管理強化を誓約している。EES はこれらの重要安全事項を念頭に、顧客の長所を強調し、同時に米国化学会社の視点から、人とプロセスの安全にフォーカスした改善を提案し、御社の工場紹介英文プレゼンテーションを作成します。監査から発生する、OSHAベースの安全プログラムの実施支援も承ります。EESの業務範囲は、以下ホームページをご参照ください。



合同会社EHSエキスパートサービス（法人登録：No. 90113-0300-2368） / 代表：玉井良介

☎ : 090-4368-7642

✉ : tamai_ryosuke@ehsexpertservices.com

🌐 : <http://www.ehsexpertservices.com/>

合同会社EHSエキスパートサービス(EES) 紹介

Youtube: <https://www.youtube.com/watch?v=RPkj0Bilt0M>



EH&S Expert Services

Environmental
Health
Safety

合同会社EHSエキスパートサービス (EES)

1. 環境・健康・安全監査サポート
2. 技術・工場規則関連文書翻訳(英語 ↔ 日本語)
3. US OSHA基準の安全プログラム実施サポート
4. GHS, EU CLP対応SDSの作成・翻訳仲介



代表 玉井良介

商号 合同会社EHSエキスパートサービス
法人番号 9-0113-0300-2368
法人番号指定日 平成27年12月22日

合同会社EHSエキスパートサービス(EES)は、欧米化学会社に製品・サービスを提供する日本企業に、環境安全分野のコンサルティングサービスを提供する会社です。

EESは米国化学会社ダウ・ケミカルおよびキャボット社に合計38年間、在職した代表が、製造・環境安全部署での知識と経験を活用し、皆様をサポートします。ダウ・ケミカル在籍中は、委託製造先を訪問し、安全、環境、品質の監査を実施あるいは、外国からの社内関係者と、委託製造あるいは、購入先において、同行者の通訳を行いました。この時の経験を活かし、日本企業は如何に、自分たちの強み・長所をアピールするかという点にフォーカスして、皆様のお役に立ちたいと考えております。

4つのサービスを提供します。



EH&S Expert Services

Environmental
Health
Safety

欧米多国籍化学企業にとって環境・安全・衛生とは？

Credibility
Reputation
People loyalty
Cost advantage

EH&S Excellence



**Sustainable
Business**

Core Value of the company

ビジネスパートナーにも同様なEH&S文化を要求します



委託製造化学会社
(Custom Manufacturing)



タンクターミナル



化学製品製造会社

欧米多国籍化学企業にとって、環境・安全・衛生面で、優れた結果(EH&S Excellence)を維持することは、会社の本質的価値(Core Value)そのものであり、会社の重要戦略方針の一要素である

「何故、価値となるのか？」優れた環境・安全・衛生面の実績により、その会社は、全てのパートナー(周辺社会、顧客、サプライヤー、従業員)からの信頼(Credibility)を獲得し、評判(Reputation)も高まります。そして、従業員の会社への忠誠心(Loyalty)の向上により、技術および生産性が伸び、大きなコストメリット(Cost Advantage)も得られるのです。もちろん事故を起こした時の、時間、罰金等の負の代償も回避できます。

結果として、その会社の持続可能なビジネス(Sustainable Business)に、大きなメリットを生み出します。



欧米化学企業が監査でコメントする要件は？

米国化学会社

US OSHA に基づく
安全衛生規則の遵守

日本企業
委託製造工場



- Hot work**
火気作業
- Fall protection**
高所作業（転落防止）
- Safe work permit**
安全作業許可書
- Mechanical integrity**
機器の健全性
- Respirator fit test**
呼吸器保護具フィットテスト
- Pre-startup safety review**
工場運転開始前事前安全評価
- Respirator Medical Evaluation**
呼吸器保護具医学評価
- Confined space entry**
槽内作業（酸欠作業）
- Lockout/tagout**
施錠禁札（ロックアウト）
- Process hazard analysis**
プロセス危険分析
- Root Cause Investigation**
根本原因調査
- Process safety information**
プロセスセーフティー情報
- Management of Change**
変更の管理



要求事項が厄介、理解不能、相互不信

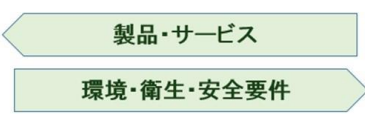
欧米化学会社が、パートナー日本企業を査察する際、環境面では、環境法令遵守ができています。前提で、地下水、河川の汚染の可能性、廃棄物の処理が調査ポイントです。ISO14001を持ってれば、“Very Good”で終わることが多い。

しかし、安全面においては、US企業であれば、OSHA(米国労働安全衛生庁)の規則を前提に監査し、日本の労安法体系と異なるコメント、要求事項が提案されることがあります。例えば、次の要件に関して。欧米では危険作業とされる、火気、槽内、高所、施錠・禁札、配管機器解放などでは安全作業許可書を発行して作業します。これは有効な手段ですが、日本ではあまり頻繁に行われていません。呼吸器保護具のフィットテストなども、日本では非常にまれです。プロセスセーフティー関連の標準も日本では体系的に構築されていないと思われます。



EESの目的

欧米化学会社に製品・サービスを提供する日本企業が、EH&S監査を受ける際、欧米EH&S文化の理解の基に、同じ言語で話し合い、良好かつ継続的關係につながるよう支援する。



環境・衛生・安全の文化

- 卓越したEH&Sの成果
- OSHA(労働安全衛生庁)の安全衛生規則
- EPA(環境保護庁)の規則



同じ言語

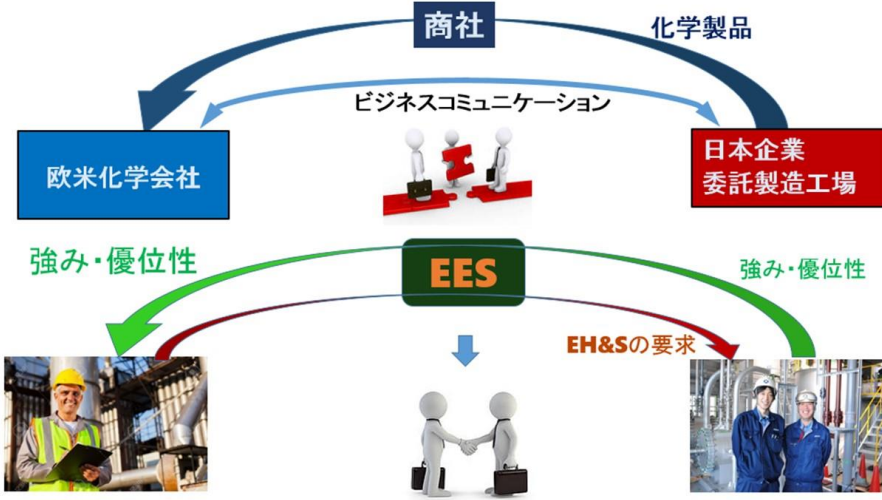
- 英語・日本語
- 専門用語(化学工場、レスポンシブル・ケア)
- 工場の安全環境管理

欧米化学会社が、パートナー日本企業を査察する際、環境面では、環境法令遵守ができています。前提で、地下水、河川の汚染の可能性、廃棄物の処理が調査ポイントです。ISO14001を持ってれば、“Very Good”で終わることが多い。

しかし、安全面においては、US企業であれば、OSHA(米国労働安全衛生庁)の規則を前提に監査し、日本の労安法体系と異なるコメント、要求事項が提案されることがあります。例えば、次の要件に関して。欧米では危険作業とされる、火気、槽内、高所、施錠・禁札、配管機器解放などでは安全作業許可書を発行して作業します。これは有効な手段ですが、日本ではあまり頻繁に行われていません。呼吸器保護具のフィットテストなども、日本では非常にまれです。プロセスセーフティー関連の標準も日本では体系的に構築されていないと思われます。



EESはEH&S 監査で全関係者を win-win に導く



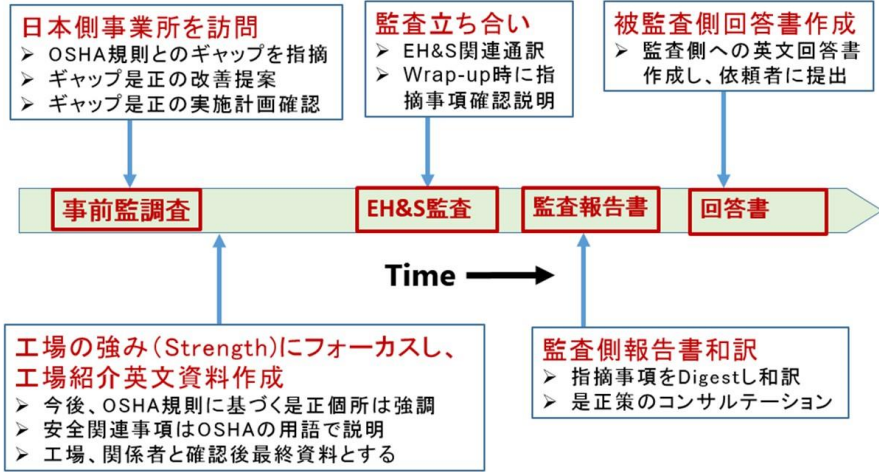
EESが監査に立ち会う際は、御社工場の強み・優位性、安全面の取り組みを正確に説明します。

EH&S関連の要求があれば、現場で確認し、ラップアップ時に、双方の合意点を探ります。

双方の要求のギャップを埋め、合意に至るプロセスをリードします。そしてWin-Winの結果をもたらせます。



環境・健康・安全監査サポートでの活動



EESは御社事業所を監査前に訪問し、欧米化学会社のEH&S標準とのギャップを調査します。ギャップ箇所は、その是正を行うかどうか相談し、実際の監査での回答を用意します。

監査立ち合いを含め、それ以降は、オプションです



EESの活動はISO審査と異なるのか？ 異なります

ISO14001環境マネジメントシステム、OHSAS18001労働安全衛生マネジメントシステム等のISO審査では、工場が国内法と自主管理要件に基き決定した、**実施要件に対し、PDCAサイクルが効率よく回り、活動の実施と継続的改善が行われているかのマネージメントシステム**をチェックします。

プロセス	日本
(1)方針・計画(Plan)	労働安全衛生法 環境関連法令 自主管理項目
(2)実施(Do)	
(3)点検(Check)	
(4)是正・見直し(Act)	

米国

OSHA Standards
EPA Law & Regulations

EESの活動では、米国化学会
社が遵守する、US OSHAの法
規要件と現状との差異を調査
し、どの程度是正するかの、
コンサルティングを

EESの活動は、ISO審査とは全く異なります。

工場が環境、労働安全衛生活動を実施する際、日本国内法と自主管理要件に基き決定した活動項目を実施要件とし、安全環境管理のPDCAの中で、それを方針・計画とします。

ISO14001環境マネジメントシステム、OHSAS18001労働安全衛生マネジメントシステム等のISO審査では、工場が国内法と自主管理要件に基き決定した、実施要件に対し、PDCAサイクルが効率よく回り、活動の実施と継続的改善が行われているかのマネージメントシステムをチェックします。

ISO審査は、基本的には実施要件が確定した後の、マネージメントシステムの監査です。EESは実施要件そのものが、欧米EH&S標準要件を満たしているかのチェックです。



その他業務

2. 化学関係技術・工場マニュアル等翻訳(英語 ↔ 日本語)
* 化学プラント製造プロセス用英語教育
3. US OSHA標準の安全プログラム実施サポート
4. GHS, EU CLP対応化学物質安全データシート(SDS)の作成・翻訳仲介 (BiPa*1の日本代理店)
5. アジア地域でのEH&S監査仲介(ASM*2の日本代理店)

*1: BiPa: Biacident Paradigm Sdn. Bhd.

GlobalMSDSのUK以外での代理店、Toxicologistを抱える、GHS, EU CLP対応のSDSの作成、翻訳に特化したビジネスをマレーシア、KLで展開する。日本の化学品メーカーもすでに、SDS翻訳サービスを利用しています。

*2: ASM: Asia Safety Management

元Cabot Pacific SH&E Director が起業。アジア地域のEH&S, Qualityの専門家をネットワークで抱え、Asia Pacific圏内で、EH&Sコンプライアンス監査、Safety Auditを実施するプロフェッショナル集団。

その他、業務としては、工場紹介の英語のプレゼンテーションの作成支援、技術関係文書の英語翻訳、日本語訳、スタッフの英語プレゼンテーション指導など、英語教育を承ります。

また、御社工場で欧米化学会社パートナーが行った監査で、指摘された是正事項等で、OSHA(米国労働安全衛生局)法規関連のものがあればその実施指導も行います。

GHS対応のSDSの作成、ラベル作成も請け負います。この作業は、マレーシア籍のBiPaという会社が実施し、EESはその日本代理店です。特に、マレーシア語、インドネシア語のGHS対応SDSには大きな強みを持ち、同時にコスト競争力の高い組織です。

EESが日本代理を務める、ASMIはインドを含め、東南アジア地域での化学会社の環境、安全査察を行うプロフェッショナル集団です。東南アジア地域に進出している、日本企業で、進出先工場での環境・安全監査を希望されれば、EESがASMIに作業依頼します。